令和６年度における地域と連携した活動と成果
【二上小学校】

活動の種類	登下校の見守り活動
活動の名称	二上小見守り隊
実施時期及び回数	月２回
対象にした児童・生徒の学年及び人数	全校児童５６６名
活動に関わる地域住民の人数	約５０名
地域住民の活動への関わり方	本校では、二上山のふもとに位置し、昔ながらの地域の学校であり、また１０数年ほど前に開発されてきた新興住宅地から通学する児童が約半数を占めている学校でもある。 毎日、地域安全推進委員の方や交通安全母の会等、多くの方に立哨や登下校の付き添いでお世話になっている。下校時にこのような見守り等があることで、その分、下校指導する教員の数を減らすことができ、教員が授業準備や会議、研修等の時間に充てることができ、大変助かっている。
概要	毎日、地域安全推進委員の方や交通安全母の会等、多くの方に立哨や登下校の見守り等、児童の安全に協力していただいている。特に本校の通学路は、旧村の道路が狭かったり、駅前の道路の交通量が多かったりと、危険な場所が多い。そのような場所での立哨や見守りは、学校にとっても大変ありがたいことであり、また、子ども達にとっても地域の方々とのつながりが深くなっているという効果もある。

活動の種類	授業支援活動
活動の名称	ミシンボランティア（家庭科）
実施時期及び回数	２学期　２時間×６週×７クラス
対象にした児童・生徒の学年及び人数	５年生９８名　６年生１２４名
活動に関わる地域住民の人数	約６０人（のべ人数）
地域住民の活動への関わり方	家庭科の実習でミシンを使う際に、コミュニティ担当の保護者にお願いして協力者を集めてもらい、児童のミシンがけのサポートをしていただいた。家庭科の担当教員一人では、児童の作業時に安全面や使用方法も十分には指導しにくいところであるが、このサポートのおかげで児童としっかり向き合う時間が増えた。大人が複数いることでより多くの児童への支援が可能であった。
概要	ミシン学習の際、支援いただく方々と事前の打ち合わせを行うことで、子どもたちは授業者の意図に沿った授業支援を受けることができた。 また、支援してくださる地域の方からの言葉がけのおかげで、子どもたちの意欲も高まり、楽しく学習を進めることできた。昨年度よりも支援いただく期間や延べ人数も増え、次年度へとつないでくことが期待できる。

活動の種類	学校行事支援活動
活動の名称	マラソン大会下草刈り
実施時期及び回数	２学期　１回
対象にした児童・生徒の学年及び人数	全校児童５６６名
活動に関わる地域住民の人数	約２名
地域住民の活動への関わり方	本校のマラソン大会は、山麓線の歩道を使って実施している。歩道橋を渡り、山麓線の歩道に出るには二上山の麓の草むらを歩かねばならない。その下草を地域の方にお願いして刈ってもらっている。準備時間の短縮につながり、別の準備や打ち合わせ等に時間を充てることができた。
概要	本校のマラソン大会は、山麓線の道を使って実施しているため、歩道橋を渡り、山の麓のきれいに刈ってもらった草の上を歩いてスタート地点に向かう。機械で丁寧に刈られており、気持ちよく行事を実施することができた。

活動の種類	学校行事支援活動
活動の名称	米作り体験、さつまいも栽培体験、冬野菜作り体験
実施時期及び回数	５年生２回　　２年生２回　　３年生２回
対象にした児童・生徒の学年及び人数	５年生９８人　２年生６９人　３年生７７人
活動に関わる地域住民の人数	５人
地域住民の活動への関わり方	５年生の米作り体験では、田の代かき、苗の準備、田植え、水の管理、肥料まき、稲刈り、乾燥・脱穀と全てにおいて地域の方にお願いしており、米作り経験者のいない学校としては大変助かっている。 また、２年生のさつまいも栽培体験では、トラクターを使って畑づくりをお願いし、教員はその時間を授業準備や研修に充てることができた。 本校の定例行事であり、勤労生産活動を通して働くことの大切を知ることができる貴重な学習でもある。
概要 稲刈りの様子 サツマイモ苗植えの様子	５年生は田植えと稲刈りの体験をしている。 ２年生のさつまいも栽培体験では、畑作りをお願いし、苗の植え方や収穫の仕方を教わった。 ３年生の冬野菜作り体験でも、畑作りをお願いし、種まきを教わった。

活動の種類	その他の支援活動
活動の名称	地域合同での防犯（不審者侵入）研修
実施時期及び回数	８月　１回
対象にした児童・生徒の学年及び人数	教職員約３０名
活動に関わる地域住民の人数	約２０名
地域住民の活動への関わり方	本校で毎年実施している不審者侵入対応訓練講習を、本校と地域の方々との合同で実施することで、学校の取組を理解していただくとともに、学校と地域の連携を図る。
概要 講習の様子 	自治会を通して、本校で実施する不審者侵入対応研修の案内を出したところ、多数の参加があった。学校職員は毎年受けているが、地域の方々にとってはなかなか経験がない行事である。昨年度の救命救急講習に続いて今年度も地域と合同で訓練に参加した。 香芝警察署から講師の派遣要請をして、学校職員によるシミュレーションやさすまたの使用方法などについて研修した。地域の方にも実際にさすまたを使って実践していただき、学校での防犯に関する取組について理解していただくことができた。